

科目名	測量学実習（１） Survey Training I	科目コード	51040
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・3年
担当教員	田中 一浩, 押木 守, 山本 隆広（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・2単位
開講時期・時間数	前期, 60時間【内訳：講義 0, 演習 0, 実験 60, その他 0】
教科書	なし
補助教材	指導書の配布プリント
参考書	浅野繁喜ほか, 測量, 実教出版

【A. 科目の概要と関連性】

以下の4つの測量を本校敷地内において、2人（または3人）の班を作り、実習する。

トランシット測量： 反復法による水平角の測定方法を修得する。

水準測量： 直接水準測量により、与えられた測点の地盤高を求める。

平板測量： 平面図を作成し、導線法および放射法を修得する。

距離測量： 2点間の距離を測定する。

○関連する科目：測量学（1）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 測量学講義の内容を確実なものにする。	40%	(d1)
② 各測量方法を習得する。	30%	(d2),(d3)
③ 各測量機器の操作を習得する。	30%	(d2),(d3)

【C. 履修上の注意】

提出物の期限を厳守すること。測量測器を大切に管理すること。ガイダンスで説明するとおり、適切な服装で実習を受けること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）【内訳：中間 XX, 期末 XX】
- その他の試験（0%）
- レポート（100%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	トランシット測量 1	
3	トランシット測量 2	
4	トランシット測量 3	
5	水準測量 1	
6	水準測量 2	
7	水準測量 3	
8	水準測量 4	
9	平板測量 1	
10	平板測量 2	
11	平板測量 3	
12	平板測量 4	
13	距離測量 1	
14	距離測量 2	
15	距離測量 3	